

I 実践

1 研究主題

豊かな人権感覚を磨き、人権意識を高める教育活動の工夫

(1) 主題設定の理由

本校では、県や市の教育目標や人権教育の視点を受け、人権教育の経営方針として「学校教育全体を通して、人権尊重の精神の寛容を目的とする教育活動を推進するとともに、心身の健全な発達を図り、誰とでも公正公平な態度で接していこうとする児童を育成する」ということを掲げている。その実現を図るために「豊かな人権感覚や人権意識を醸成する教育活動の工夫と年間指導計画の工夫・改善」を努力点としている。

(2) 研究の内容

ア 職員研修の充実

職員間の人権意識の向上と資料の整備を図る。

イ 教科学習経営の中で

各教科での学習活動を通して、互いに良さを認め合ったり尊重し合ったりしながら、一人一人の児童の良さを伸ばしていく学び合いが展開できるようにする。

ウ 道徳の時間の中で

個人の尊厳についての自覚を深めることができるように、生命尊重の心、感謝の心、思いやりの心、公正・公平な態度などを中心に人としての生き方や感性が身につけられるように努める。

エ 特別活動の中で

児童の自主的・主体的な活動を重視した様々な活動の中で、互いの良さを認め合い協力し合うことができるようにする。

オ 学年・学級経営の中で

一人一人の居場所があり、自他の良さを感じていけるような温かな関わり合いの場を作りながら、個の良さを生きた望ましい学級集団を作っていくように努める。

カ 総合的な学習の時間の中で

体験学習や課題解決学習の中で、人間的なふれあいを通して思いやりや平等、人権の精神の育成を図る

キ 外国語活動の中で

他国の文化を理解・尊重する態度を育成するとともに、自国の文化や歴史を尊重する態度の育成に努める。

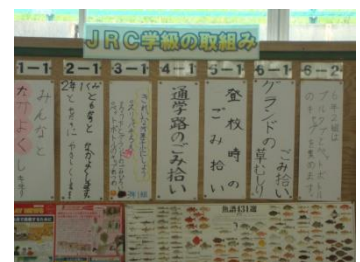
ク 家庭・地域への啓発

家庭・地域との連携を積極的に図り、人権教育への理解・協力が得られるようにする。

2 実践の内容

(1) 児童会活動の取り組み

計画委員会の児童が中心となって、JRC（青少年赤十字）の登録式を行った。登録式までに、計画委員が中心になって、お昼の放送や計画委員会便りで、理解啓発を図った。活動宣言の際には、1年間各学年が、どのような活動を続けて行くのかを発表した。また、校内に活動内容を掲示し、意識付けができるようにした。



1年間の取り組み

(2) 異学年交流

毎週木曜日の「ふれあいタイム」では、異学年交流を行っている。3学年で1グループを作り、たてわり班で様々な活動に取り組んでいる。高学年の児童が話し合いや活動の中心となり、下学年の意見も取り入れて、活動を行っている。

今年度は、東日本大震災以降行っていなかった「砂の造形」を5年ぶりに実施した。河原子の自然環境を生かして、河原子海岸で「海の生き物」を題材にして、取り組んだ。計画委員を中心に計画を立て、グループごとに事前に話し合いを行い制作する物を決めて取り組んだ。制作作品には計画委員が中心となって賞を決めておき、表彰を行った。

(3) ふれあい給食

毎年、河原子交流センターを通じて、地域の方を招待し、各学年ごとテーマを決めて、子どもたちと給食を食べながら、様々な交流をしていただくという「ふれあい給食」を行っている。1年生は2回目の冬の遊びを教えていただいた後に、お礼をこめて給食を食べてお礼の会を開いている。6年生は社会科との関連で戦争の話を聞いている。話を聞いたり体験学習したりすることができ、感謝をする心も育てていきたい。

(4) 1学年生活科「なつのあそびを楽しもう」「ふゆのあそびを楽しもう」

交流センターと連携を図り、7月に「なつの遊び」、11月に「ふゆの遊び」実施した。昔ながらの遊びを教えていただいた。夏と冬2回実施することで、子どもたちも地域の方を「名人さん」と呼んで、ふれあいを楽しみながら、昔遊びのへの関心を高めることができた。



砂の造形



ふれあい給食・お礼の会



昔遊び

II 今後の課題

- (1) JRCの登録式や異学年交流の計画などは、計画委員が中心になって取り組んでいる。計画委員で計画したことを、各異学年グループや各学級に連絡をして実施するなど、子どもたちの自主的な活動が見られた。
- (2) 地域の方と接する機会として「ふれあい給食」や「生活科や総合的な学習の時間」などの体験活動を行ってきた。交流センターの方と連携ができていたので、毎年スムーズに計画、実施することができた。今後も連絡を密に取り合いながら、取り組んでいきたいと思う。
- (3) 各教科や道徳、特別活動、学級と、様々な学校生活の中で人権について考える機会や体験活動の機会を設けてきた。このような活動の中で、児童たちは人権について考える機会はある。しかし、何気ない言動や行動で、友だちにいやな思いを与えてしまうこともある。今後も人権感覚を育てていくために、職員も充実した研修や啓発を行っていききたいと思う。

III 人権コーナー設置の様子

全校の優秀な作品が掲示してある連絡通路に人権コーナーを設置している。人権便りや児童が書いた人権メッセージなどを紹介し、人権に対する意識を高められるようにしている。また、各学級で道徳のワークシートを掲示し、「ありがとうの木」などを設置している。



人権コーナー



思いやりの木



ありがとうの木